

<p>ナンバリングコード B2THB-cxxG-1N-Lp1 授業科目名 (時間割コード:000417) 主題B-4「文化と科学・技術」 How Culture Shapes Science and art 社会デザインとマイノリティ問題 Social Design and the Problems of Minorities</p>	<p>科目区分 主題科目 水準 学士:基礎科目 分野 主題B 授業形態 講義 PBL</p>	<p>時間割 2021年度 4Q火1 提供部局: 大教センター DPコード: cxx 単位数 1</p>	<p>対象年次 1～ 対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム</p>
<p>担当教員名 小坂 有資</p>	<p>関連授業科目 瀬戸内国際芸術祭とマイノリティ問題 履修推奨科目 差別とマイノリティ、マイノリティのライフストーリー</p>		
<p>学習時間 授業90分×7回+授業45分×1回+自学自習(準備学習20時間+事後学習10時間)</p>			
<p>授業の概要 【キーワード】 共生社会のデザイン デザイン思考とは、デザイナーの営みをモデルにした課題を発見・解決するための技法です。この授業ではデザイン思考のうち「プロトタイプ」と「テスト」に焦点をあて、マイノリティの人々が生きやすい社会をデザインします。そのために、共生社会の理論や具体例について学びます。これらをもとにして、グループでマイノリティの視点から共生社会をデザインします。</p>			
<p>授業の目的 この授業では、共生社会について理解したうえで、マイノリティの人々の視点に立ち、マイノリティの人々が生きやすい社会のためのアイデアを出し、共感という技法にもとづいて社会をデザインできるようになることが目的です。このことは、デザイン思考における「プロトタイプ」及び「テスト」のプロセスを身につけることと同様です。</p>			
<p>到達目標</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 共生社会について説明することができる。 2. 自分自身と関連づけながら、マイノリティの視点から社会をデザインすることができる(共通教育スタンダード「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。 3. 2を、デザイン思考における「プロトタイプ」及び「テスト」のプロセスとの関連で理解できる。 			
<p>成績評価の方法と基準 コメントシート10%(到達目標1に対応)、グループ発表30%(到達目標2と3に対応)、レポート60%(到達目標の1と2と3に対応)</p>			
<p>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</p>			
<p>【授業計画】 第1週 ガイダンス: デザイン思考と社会デザイン 第2週 差別について 第3週 ライフストーリーについて 第4週 共生社会について 第5週 共生社会の事例について 第6週 グループ発表の準備 第7週 グループ発表 第8週 振り返りとまとめ</p> <p>【授業及び学習の方法】 第1回、第2回、第8回は、主に講義です。第3回～第5回は、講義とグループワークです。第6回は、グループ発表の準備のためのグループワークです。第7回は、グループ発表です。この授業では、少人数グループによる課題解決型学習=PBL(Problem Based Learning)の技法を用います。PBLについては、第1回の授業で説明します。 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】 第1回: この授業に関するアンケートに回答してもらいます。 第2回: 差別に関する授業内容を復習してください。 第3回: グループ発表で取り組むマイノリティに関する歴史と課題を調べてレポートにまとめてください。 第4回: グループ発表で取り組むマイノリティの課題を解決するためのヒントになる事例を調べてレポートにまとめてください。 第5～6回: グループ発表のための準備をしてください。不足している内容を調べてグループ発表にいかしてください。 第7～8回: グループ発表したマイノリティの人々が抱えている具体的な課題とその解決策に、自分自身ができるように関与することができるかを論述するレポートを作成してください。</p>			

教科書・参考書等

参考書：西原和久・杉本学編（2021）『マイノリティ問題から考える社会学・入門：差別をこえるために』有斐閣。他にも授業中に適宜紹介します。

オフィスアワー 水曜日12時～14時・幸町北キャンパス5号館5階

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業はグループワークが中心なので、やむを得ない場合を除いて遅刻・欠席をしないようにしてください。